

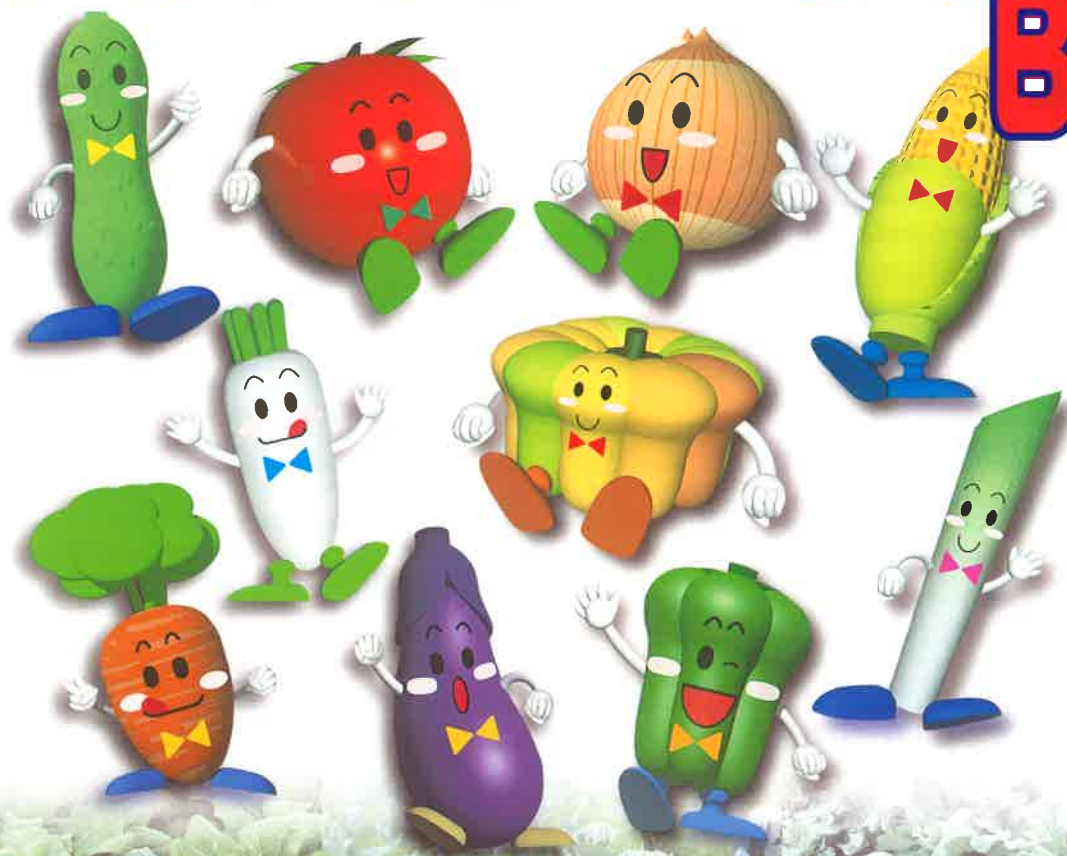
土壤改良+緩効性+多成分

一発型総合肥料

石灰窒素、苦土、微量元素、アルカリ入り

CC/Pワ-379

BM



石灰窒素を40%配合

窒素 りん酸 加里 苦土 マンガン ほう素

13-7-9-4-0.32-0.16

NET:20kg樹脂袋

電気化学工業株式会社

CCパワー379BMの特長

石灰窒素が重量の約40%含まれ、石灰窒素の特性を生かせる新規肥料です。

1 成分

●保証成分 (%)

窒素	りん酸	加里	苦土	マンガン	ほう素
全量	＜溶性	水溶性	＜溶性	＜溶性	＜溶性
13	7	9	4	0.32	0.16

●含有成分 (%)

窒素	素	けい酸	アルカリ分
石灰窒素性	尿索性	可溶性	
8	5	6～8	35～40

2 特長

8成分を含有し、施肥を省力化

特に苦土石灰の約2/3のアルカリ分を含み、酸性改良、有機物腐熟促進等に効果を発揮するため、土壌改良材の施用を省力化できます。

微量元素を配合

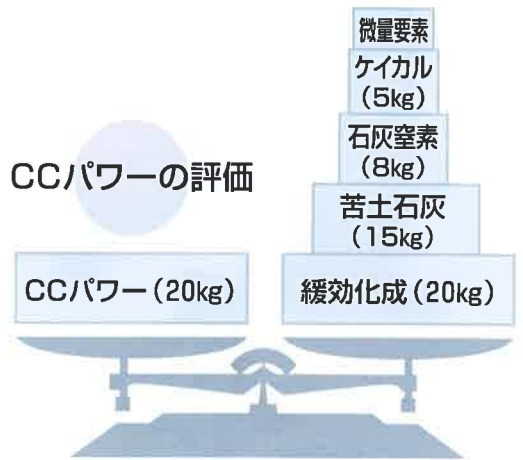
マンガン、ほう素を含むため野菜一般、特に欠乏症の出るアブラナ科野菜（ハクサイ、ダイコン等）に最適です。

緩効性で無駄のない肥効

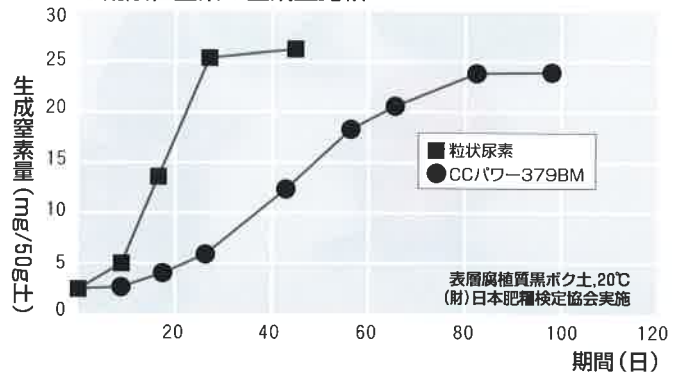
窒素は、石灰窒素、尿素の複合系により肥効は高く長続きます。りん酸は、＜溶性で長効します。

高い土壌改良力で地力向上

石灰窒素、熔りんの様々な効果で健全な土をつくります。



●硝酸性窒素の生成量比較



3 使い方

- 10a当りの基準施肥量は、野菜:4～10袋、果樹:4～6袋。
- 初期生育の確保が重要な作物には、速効性肥料の併用又は早い時期の施用がより効果的です。
- アルカリ性肥料であるため、土壌のpHに合わせ石灰等の施用量を加減して下さい。
- 石灰窒素を含みますので、使用前に袋記載の注意事項を良く読み、施用時期（播種、定植に当たり、暖期は3～7日前、寒期は7～10日前に行い土壌と良く混和する）、施用方法、使用法（散布後24時間以内は飲酒しない）、保管方法等を守ってください。